

家族との生活をおもうまに、平屋の暮らし

家づくりの原点は、「平屋住まい」です。そこには、何ものにも縛られない自由な暮らしがあります。

庭の土や緑を感じながらの生活、内と外を一体に開放性を求めた生活。

2階という制約がないことで、天井を高く、勾配天井も可能です。

このびやかな空間には、心地よい風が通り抜けていきます。

また、ワンフロアに住まうというバリアフリーの生活があります。

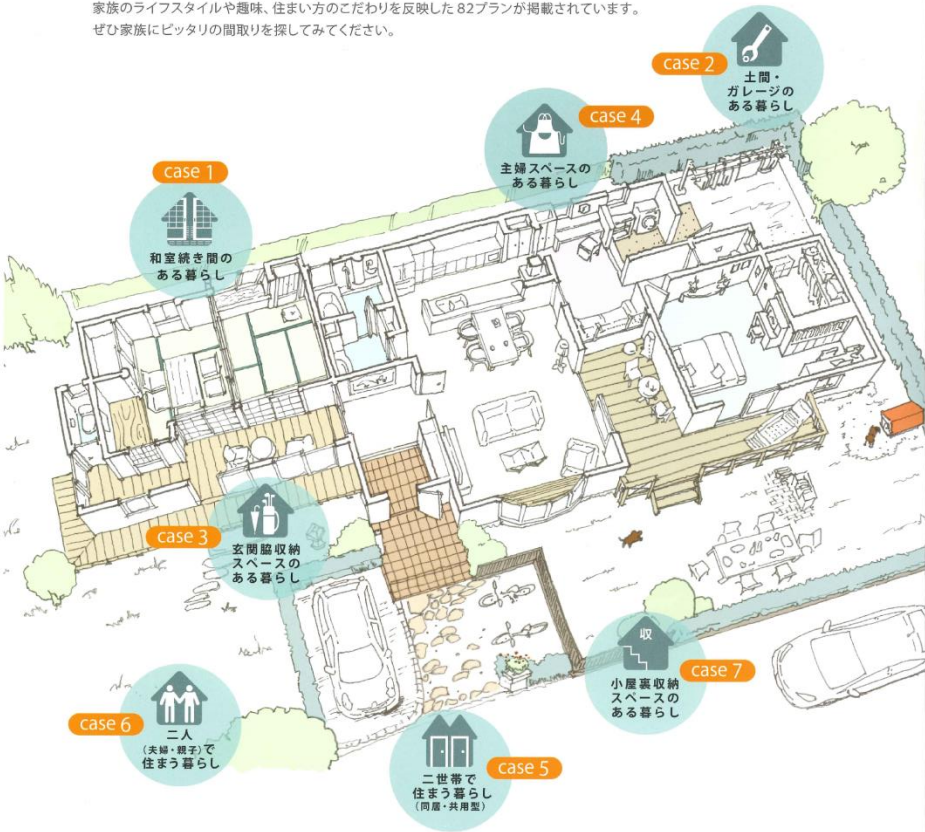
高齢者に優しく安心な住まいです。

平屋の暮らしは、家族がいつまでもゆっくりと時間を過ごす生活を約束します。

この「平屋の間取り集」には、床面積や部屋数の違ったプランだけでなく、

家族のライフスタイルや趣味、住まい方のこだわりを反映した82プランが掲載されています。

ぜひ家族にピッタリの間取りを探してみてください。

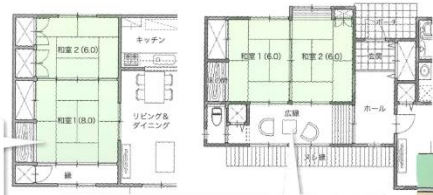


case 1 和室続き間のある暮らし

和室の続き間は、ゆとりのスペースです。床の間や広縁を設けたり、長押(なげし)のある書院造りで格式を上げたりして、来客をもてなす客間として使えます。お正月などに、離れて暮らす家族が大勢で一堂に会することもできます。もちろん、落ち着いた場所なので、お客様の宿泊も可能です。

ワンポイント
襖で閉じることが可能な「奥の間」は、寝間(候室)として使えます。同一階で視線を遮りながらも、お互いのケハイを感じる生活です。

この和室は
リビングの延長としてのパブリックスペースです。客間として、家族がゆったりとしたひと時を過ごす場として多目的に使えます。座卓や籠りコタツ、お料理台が皆が集います。



なるほど!
和室の前室(通路)となる広縁は、イスとテーブルを置いて、くつろぎのスペースになりますね。

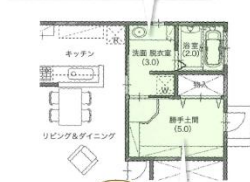


case 2 土間・ガレージのある暮らし

土間は、半屋外的な室内スペースです。屋外で行われることを室内に取り入れた生活を可能にしてくれます。下足履きの部屋(土間)は、多少の汚れも気にしないで済むながらの生活を取り入れた新しい住まい方の提案です。住まいと一体になったビルトインガレージは、半室内的な屋外スペースです。雨の日も、濡れずに車から室内へ入ることができます。生活にゆとりと利便性を与えてくれるガレージです。

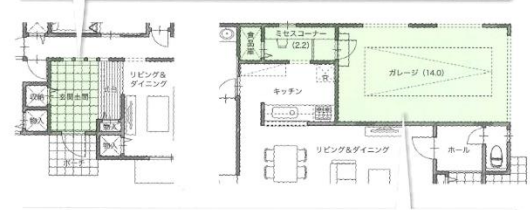
いつもピカピカ!
泥んこに汚れた子どもたち、ガーデンングでかいた汗。勝手土間に続く水回りがあるから、我が家はいつも清潔です。

お家に帰ったら
洗面で、手洗いとウガイを忘れません!



ポイント②
勝手口と一体の土間(勝手土間)ならば、家族専用スペースなので、趣味の陶芸部屋に使ったり、野菜などの貯蔵庫にも使ったりできます。時には、洗濯物の室内干しスペースとなります。

ポイント①
表玄関と一体の土間(玄関土間)ならば、イスを置いて玄関口の接客に使ったり、ペベーカーや三輪車置き場にも使ったりできます。時には、趣味の自転車をカスタマイズするスペースとなります。



ポイント③
ビルトインガレージならば、車から降りて直ぐに室内に入る動線がつけれます。これで、イッパイ買った荷物を、最短距離で収納場所へ運ぶことが可能です。

ポイント④
お日さまや雨を遮る屋根のあるガレージは、車がない時は子どもたちの遊び場に変身します。車の通る道路ではないので、安全に通うことができます。親にとっての安心です!

case 3 玄関脇収納スペースのある暮らし

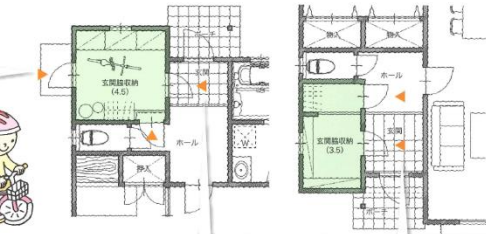


住まいには、納戸やクローゼットなどの室内用品をしまう収納庫はあるものの、生活に欠かせない屋外用品をしまう収納庫がありません。玄関は、内と外をつなぐ場所です。その脇には、靴や傘だけでなく、趣味で使うゴルフバッグやスノーボード、庭のお手入れ道具やお出掛け用の上着などを収納するスペースがあるととても便利です。

意外な収納品

屋外から直接収納スペースに出入りできると、更に収納品が増えます。ペニーカーは勿論のこと、三輪車や自転車までも収納できます。

私の大事な自転車も、お家の中に入れてあげたいもん!



趣味のゴルフ道具が入られて大満足! 玄関先に停めた車へ積むのも近くて助かるなあ



2WAYの魅力

玄関とホールの2カ所から出入り(2WAY)できると、履いてきたクツを収納して室内(ホール)へ入ることができます。玄関は、家族のクツが並ぶことなく、いつも綺麗に保たれます。

case 4 主婦スペースのある暮らし



充実した家庭生活を送るには、日々の家事仕事が重要です。それを担う主婦が使いやすい家は、家族みんなが幸せになれる。これからの住まいには、主婦のためのスペースづくりを心掛けなければなりません。

ワンポイント

家事スペースを集中させると、同時に様々な家事をこなすことができます。キッチンとお風呂とミセスコーナーが近いと、料理を作りながら洗濯をしたり、食器を洗ながらダイニングで勉強をしている子どもの様子を見守ったり、家計簿をつけたりもできます。忙しい主婦にはありがたいです。

家事がはかどるわ!



ミセスコーナー

主婦が一番のお気に入りのスペース。一人静かにお家のこと、家族のことを思うところです。もちろん、ときどきソファに座って体を休めます。



勝手口

買い物棚りは、ここから家の中へ入ります。キッチンも近いし、食品庫もあるのですぐに収納できて助かります。庭に干す洗濯物も、ここから出入りできて、とても便利!

毎日のことだから

一直線に並ぶ家事動線は、無駄な動きがなくても使いやすい配列です。

雨なんてへっちゃら!

雨の日も、ここですぐに干します。



case 5 二世帯で住もう暮らし(同居・共用型)



平屋に住む二世帯家族は、上下階に別れて暮らす独立型に比べて、お互いをより身近に感じることができます。階段を昇り降りすることなく、同一階に住む単純な水平移動の生活です。共用スペースのあり方が重要となります。

程よい距離

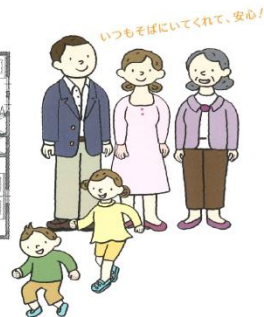
世帯ごとの食事は別々に、時にはみんなで一緒にワイワイ!

分けるところは分ける①

専用に設けたキッチンやトイレは、とても評判がよい!

分けるところは分ける②

世帯間に共用スペースを挟み込むと、お互いのプライバシーが確保しやすい!



いつもそばにいてくれて、安心!

case 6 二人(夫婦・親子)で住もう暮らし



子どもが巣立ったあとの夫婦や親子水入らずの二人の家族です。お二人は、それぞれが家の主(あるじ)となります。夫婦で、親子で過ごす楽しみと、一人静かに流れる時を満喫する生活が待っています。

二人の生活は下僕いわ!



程よい広さをお二人に!

部屋の広さは同じにします。まさに、二人主(あるじ)ですね!

夫婦お二人なら

一部屋を寝室に、もう一部屋を趣味のスペースや来客をもてなす和室に替える。使い方がいろいろですね!



こんなことも

ウォークインクローゼットを、部屋と部屋の間に設けて...
・共用して収納率を上げる。
・視覚的に渡る幅でして用いる。

秘密基地みたいで楽しい!



case 7 小屋裏収納スペースのある暮らし



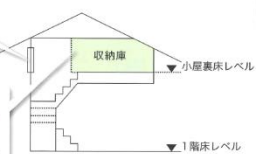
可能な限り収納スペースを確保することは家づくりの基本です。小屋裏に設ける収納部屋は、法的に天井高さを1.4m以下としなければなりません。階下の日常生活スペースを使用することなく収納力をバツグンに増やすことができます。昔懐かしい思い出の物、季節物などの普段使わない物を収納するなら小屋裏を利用することも一つの考え方です。

なるほど!

窓があると、明るくて換気ができ、子ども連やお父さんの一時的な部屋に使えるそうですね。

内蔵の魅力

なんていったって、外にある蔵よりも、内蔵が一番! いつでも出し入れができ、温度・湿度も住まいと一緒にして、大切な物を安心して収納することができます。



ワンポイント

ハンゴ式の可動階段より、固定階段が一番です。階段を固定すると、安心して昇り降りすることができます。一人でも出し入れ自由自在!